



高屋中学校だより

＜校訓＞ 正しく 仲よく たくましく

☆ 教育目標 「教養豊かで、たくましく生きる生徒の育成」

<http://www.edu.city.ibara.okayama.jp/site/takatyu/>

高屋中学校 9月号
(第5号)

令和3年 9月17日

コロナ禍の2学期がスタート!!



8月30日(月)に始業式を行い、2学期がスタートしました。

岡山県が「緊急事態宣言」の地域に指定された中でのスタートとなり、9月13日(月)から30日(木)までは「まん延防止等重点措置」が適応され、井原市も対象地域に指定されました状態です。井原市でも8月の1ヶ月間で多くの感染者が確認され、予断を許さない状況が続いています。現在の第5波は、デルタ株による感染拡大といわれ、全国で10代、20代の感染する割合が高くなって児童生徒の感染者も確認されています。改めて、新しい生活様式に基づく徹底した手洗いや消毒、マスク着用、ソーシャルディスタンス等を確実に実行し感染予防に努めてほしいと思います。



感動のオリンピック・パラリンピック

今年の夏休みの大きな話題は、オリンピック・パラリンピックが開催されたことでした。連日、日本代表選手たちの活躍が報道され、多くのメダルを獲得しました。新型コロナウイルス感染症対策として様々な制約や開催されるかどうかの不安がある中でも、夢や希望を持ち続け、たゆまぬ努力を重ねた選手、それを支えたスタッフの努力がもたらした成果だと思います。そんな大会で、私たちにたくさんの感動や元気、勇気などを与えてくれました。

卓球混合ダブルスは、準々決勝対ドイツ戦での絶体絶命のピンチからの大逆転、そして決勝で中国を破っての金メダル。フェンシング男子エペ団体戦は、初戦敗退の危機を乗り越え、強豪を次々と破っての金メダル。平均身長12カ国中11番目の女子バスケットボールチームが小柄でも勝負できる戦術を磨き上げての銀メダル。等々。劣勢や不利な条件でも決してあきらめなければ、大きな可能性につながることを感じさせてくれました。

オリンピック・パラリンピックを通して、皆さんも夢や希望を持ち続けること、あきらめない気持ちを持つこと、お互いに支え合うこと、周りの人への感謝の気持ちを持つことを大切にしてほしいと思いました。



力を尽くした県大会(野球部)

備南西地区大会を勝ち上がった野球部が、7月25日(日)に県大会に臨みました。真備総合公園野球場で高梁中学校と対戦しました。試合序盤



は力を十分出すことができず、初回に3点を取られるなど劣勢でしたが、徐々に調子を取り戻し3回以降は相手を0点に抑えていきました。攻撃では、3回、6回に1点ずつ返し、最終回も1点を取って1点差にまで迫りましたが残念ながら3対4で敗れました。しかし、高屋中学校野球部らしさを出して、最後まであきらめることなく全力で闘う姿は立派でした。

心を一つにして臨んだ吹奏楽コンクール



岡山シンフォニーホールで吹奏楽コンクール中学校A部門予選大会が開催されました。高屋中学校吹奏楽部は、25日(日)の一番最初の出演順ということもあり、緊張しながらの演奏でした。新型コロナウイルス感染症の影響で練習が制限された中でも、できることに一生懸命取り組んで練習を重ねてきました。無観客で少しさみしい会場でしたが、課題曲「吹奏楽のための『エール・マーチ』」、自由曲「おもちゃ箱のファンタジー」を見事に演奏しました。惜しくも銀賞で、県大会には進めませんでした。日頃の練習の成果を発揮することができました。